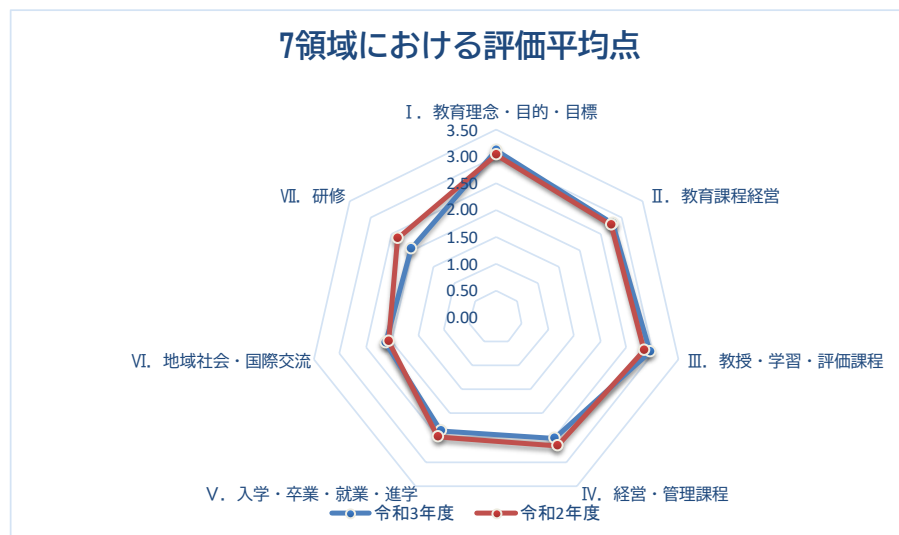


令和3年度 学校評価の結果報告

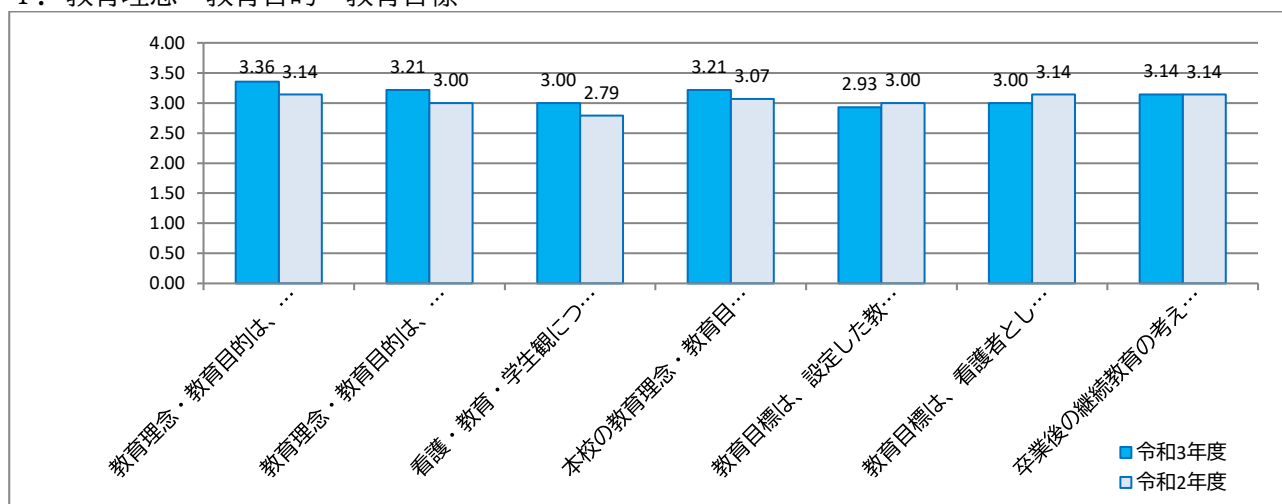


【集計・分析方法】

アンケートは14名から回答を得ることができた。

「A：そう思う」を4点、「B：ややそう思う」を3点、「C：あまりそう思わない」を2点、「D：そう思わない」を1点とし、平均値を算出しグラフ化したものを載せている。無回答は平均値の分母から除外した。

I. 教育理念・教育目的・教育目標



1	教育理念・教育目的は、本校の教育上の特徴を示しており、かつ、法との整合性があるか。
2	教育理念・教育目的は、学生にとって学修の指針になるように具体的に明示され、実際に指針となっているか。
3	看護・教育・学生観について、教員の教育活動の指針となるように明示され、実際に指針となっているか。
4	本校の教育理念・教育目的が教育目標と一貫しているか。
5	教育内容は、設定した教育内容を網羅しており、かつ、卒業時の学生の到達度が明示されているか。
6	教育目標は、看護者としての能力を育成する側面と修学者としての成長を促すための側面から設定されているか。
7	卒業後の継続教育の考え方を示した上で看護基礎教育として、教育目標を設定しているか。

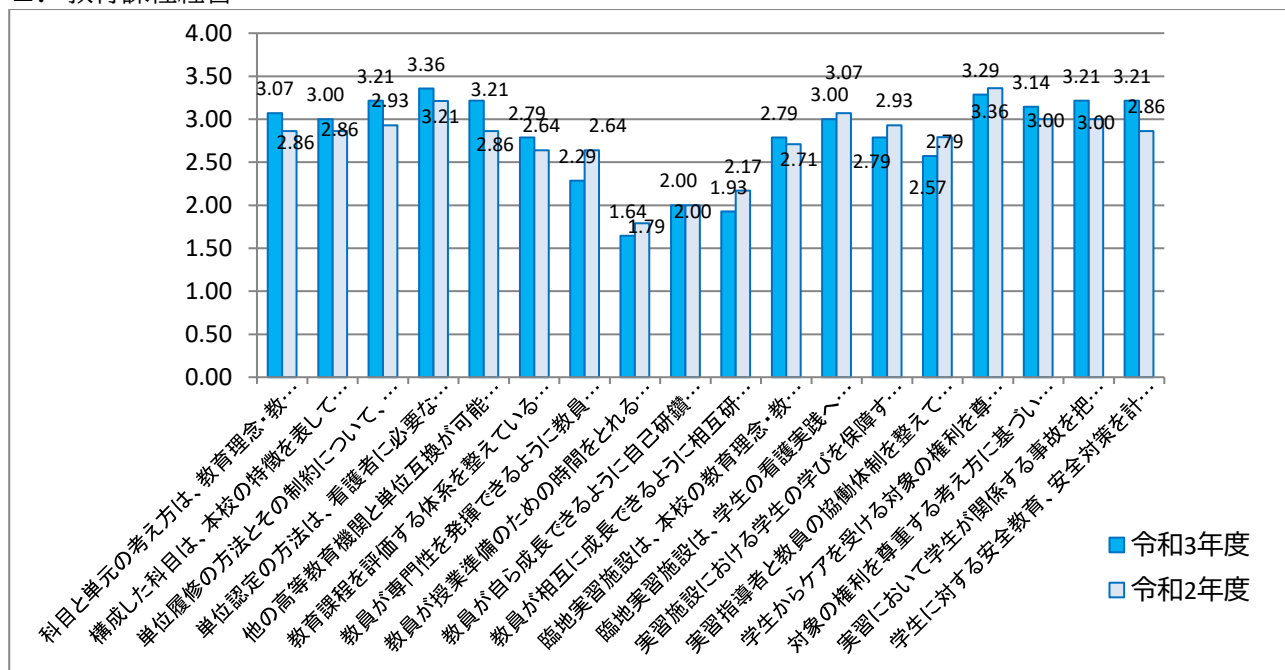
1. 評価

7 項目全てにおいて昨年度から平均点は高くなっている。評価項目 5「教育内容は、設定した教育内容を網羅しており、かつ、卒業時の学生の到達度が明示されているか。」が、他の項目に比べ 2.93 と低くなっている。学生便覧、授業計画には、教育目的・目標、学年別到達目標、目指す看護師像が明記されている。教員一人一人が内容を再確認し、学生個々のニーズに合わせた教育ができるよう日々努力していく必要があると考える。

【改善の方策】

評価項目 7⇒看護師としての技術の実践に重き過ぎているように思え、卒業後の継続教育について考え方を示している部分が見当たらない。

Ⅱ. 教育課程経営



1	科目と単元の考え方は、教育理念・教育目的・教育目標と整合性があり、明確な根拠をもっているか。
2	構成した科目は、本校の特徴を表しており、看護者を養成するのに妥当であるか。
3	単位履修の方法とその制約について、教員・学生の双方が解るようになっているか。
4	単位認定の方法は、看護者に必要な学修を認めるものとして妥当であるか。
5	他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えているか。
6	教育課程を評価する体系を整えているか。
7	教員が専門性を発揮できるように教員の担当科目と時間数を配分しているか。
8	教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えているか。
9	教員が自ら成長できるように自己研鑽のシステムを整えているか。
10	教員が相互に成長できるように相互研鑽のシステムを整えているか。
11	臨地実習施設は、本校の教育理念・教育目的、教育目標を理解しているか。
12	臨地実習施設は、学生の看護実践への学修を支援する体制を整えているか。
13	実習施設における学生の学びを保障するために臨地実習指導者と教員それぞれの役割を明確にしているか。
14	実習指導者と教員の協働体制を整えているか。
15	学生からケアを受ける対象の権利を尊重するための考え方を明示しているか。
16	対象の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導を計画的に行っているか。
17	実習において学生が関係する事故を把握し、分析しているか。
18	学生に対する安全教育、安全対策を計画的に行っているか。

1. 評価

教育課程経営全体の平均は、昨年の 2.76 から 2.81 と高くなっている。しかし、評価項目 6「教育課程を評価する体系を整えているか。」7、「教員が専門性を発揮できるように教員の担当科目と時間数を配分しているか。」、9「教員が自ら成長できるように自己研鑽のシステムを整えているか。」、13「実習施設における学生の学びを保障するために臨地実習指導者と教員それぞれの役割を明確にしているか。」、14「実習指導者と教員の協働体制を整えているか。」の 5 項目が昨年度より 1.0 から 2.0 近く低くなっている。評価項目 6 については、新カリキュラムが進む中で教務会議等の中で、評価時期、方法を検討していく必要がある。評価項目 9 についてはコロナ禍の現在、看護教員対象の研修は、土曜、日曜の Web セミナーが多い。平日の多忙な業務がある中、休日を利用して参加することになるため、参加することが難しい教員がいると考えられる。自主参加する研修について保障するシステムの構築、環境整備を検討する必要があると考える。

評価項目 13、14 については、臨地実習に関する内容である。現在おこなっている実習指導者会議、実習インストラクター会議を引き続きおこなっていき、その都度、実習目標、指導方法について確認し合っていく必要があると考える。

【改善の方策】

評価項目 7⇒・専門教員の退職に伴い、他の専任教員の意向を確認しながら看護学領域を変更せざるを得なかった。

・専門性の不確かさと講義時間の不ぞろい

評価項目 8⇒・教員の業務量にもよるが、準備時間の 8 割は時間外、若しくは休日に行っている。

・年間の殆どが実習引率になっているため、就業時間内で準備をするのは不可能。自宅に持ち帰っているのが、現実である。

・授業準備は、ほとんど自宅でおこなっている。もう少し学校での業務としてできるように人材確保が必要である。

・実習と雑務（出欠時間と追試験・再試験対応）に振り回される日々

評価項目 9⇒・研修内容を回覧しているが、研修を受ける時間的、精神的余裕がない。

・授業準備のほか、学年業務があると自己研鑽の時間の確保が厳しいと感じる。

・欠員と体調不良者で残る全ての教員が疲弊

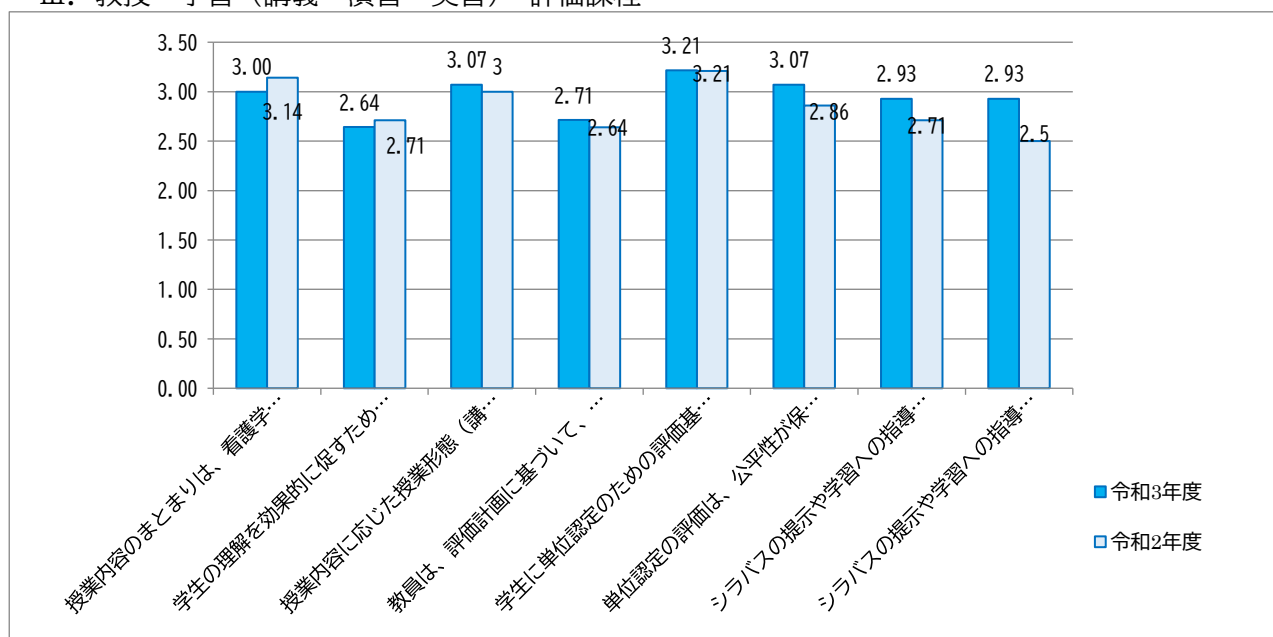
評価項目 10⇒・業務多忙で、気持ち的に余裕がなく、気持ちが向かない。

・業務に余裕がないために、自己研鑽する時間がとれない。業務に余裕が持てるように人材確保が必要である。

評価項目 11⇒・病院格差が大きい

評価項目 12⇒・病院格差が大きい

Ⅲ. 教授・学習（講義・演習・実習）・評価課程



1	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか。
2	学生の理解を効果的に促すために授業内容の重複や整合性、発展性などが明確になっているか。
3	授業内容に応じた授業形態（講義・演習・実験・実習）を選択しているか。
4	教員は、評価計画に基づいて、実際に授業を改善しているか。
5	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表しているか。
6	単位認定の評価は、公平性が保たれているか。
7	シラバスの提示や学習への指導は、本校全体として一貫性があるか。
8	シラバスの提示や学習への指導は、主体的な学習への動機づけと支援になっているか。

1. 評価

評価項目の殆どで昨年度より高い平均点となっている。

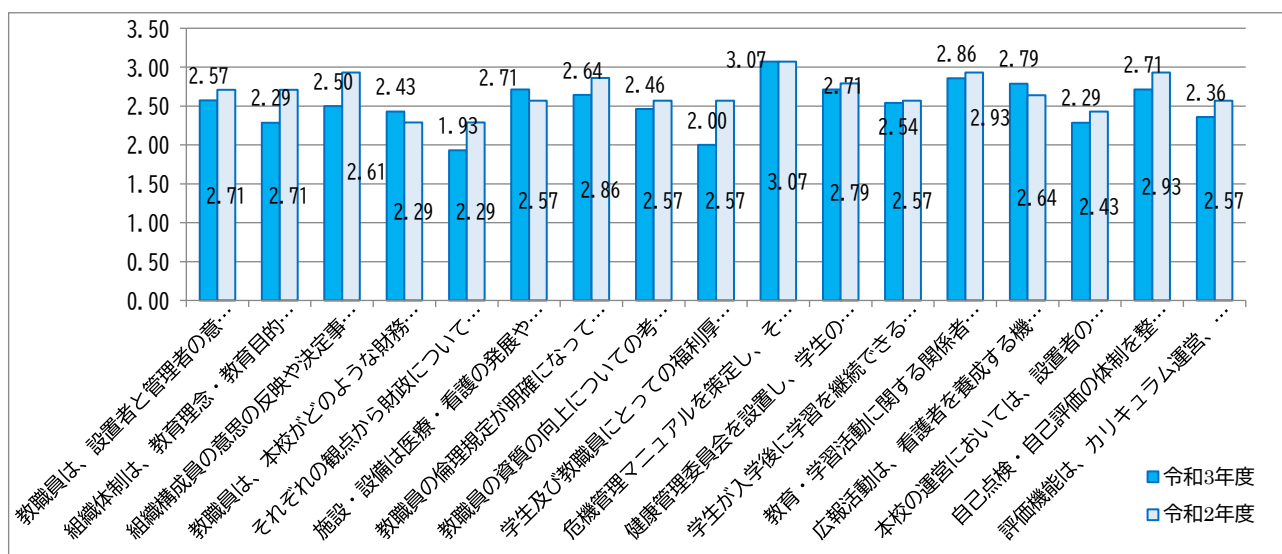
評価項目1「授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性があるか。」と、評価項目2「学生の理解を効果的に促すために授業内容の重複や整合性、発展性などが明確になっているか。」については昨年度より低くなっている。授業準備時間の確保と学生のレディネスに合わせた授業内容の検討に苦労、努力していることが反映された結果と読み取ることができる。人員確保が業務全体の改善と教育内容、方法の向上につながるため、人員確保の継続につとめる必要があると考える。

【改善の方策】

評価項目4⇒・非常勤講師に委ねている科目は評価をもとに改善しているのかと言われると、難しい。自分の担当科目だけというのであれば改善に心がけている。

評価項目8⇒・ICGの導入しながら、主体的な学習への支援できるよう心掛けている。

IV. 経営・管理課程



1	教職員は、設置者と管理者の意志・指針を理解しているか。
2	組織体制は、教育理念・教育目的を達成するために意思決定のシステムや権限、役割機能が明確になっているか。
3	組織構成員の意思の反映や決定事項を周知できるような体制を整えているか。
4	教職員は、本校がどのような財務基盤によって成り立っているかを理解しているか。
5	それぞれの観点から財政についての教職員の意見を経営・管理過程に反映できるようになっているか。
6	施設・設備は医療・看護の発展や学生の変化に合わせて計画的に整備改善しているか。
7	教職員の倫理規定が明確になっているか。

8	教職員の資質の向上についての考え方と対策は、教育理念・教育目的の達成と整合性をもっているか。
9	学生及び教職員にとっての福利厚生施設・設備は、学生生活や教職員の職務が円滑に遂行できるように整備されているか。
10	危機管理マニュアルを策定し、それに基づき防犯・防災（避難）訓練を行うなど、安全確保の体制を整えているか。
11	健康管理委員会を設置し、学生の健康管理を支援するための年間計画を立案・実施・評価を行っている。
12	学生が入学後に学習を継続できる支援体制を多角的、かつ学生が活用しやすいように整え、実際に学生生活の支援になっているか。
13	教育・学習活動に関する関係者（保護者等）への情報提供を行うことによって、その協力支援を得ているか。
14	広報活動は、看護者を養成する機関として、その存在を十分にアピールし、かつ社会的説明責任を果たす内容と方法になっているか。
15	本校の運営においては、設置者の将来構想の下に運営の中期・短期計画、年間計画を立案し、実施・評価を行っているか。
16	自己点検・自己評価の体制を整え、学校評価として運用しているか。
17	評価機能は、カリキュラム運営、授業実践にフィードバックし、教育理念、教育目的、教育目標を維持改善するものとなっているか。

1. 評価

昨年度より平均点が下がっている項目が多い。その中で評価項目 9「学生及び教職員にとっての福利厚生施設・設備は、学生生活や教職員の職務が円滑に遂行できるように整備されているか。」の下げ幅が大きくなっている。学生に関係することと言えば、昼休み時間の軽食等の学内販売が減少したこと、教員については、業務が多忙なことにより年次有給休暇をとることが難しいと感じていることが考えられる。学生ならびに教職員に対する施設・設備の整備に努力していく必要があると考える。

【改善の方策】

評価項目 5⇒・理事会との関係もあるので、難しいかと考えている。

評価項目 6⇒・中期的な計画は、建物の耐震化をどのようにするのがいいことと、学校の今後についてわからないので計画が難しい。そのため、カリキュラム改正に伴い必要なものを準備し、教育環境を整えている。

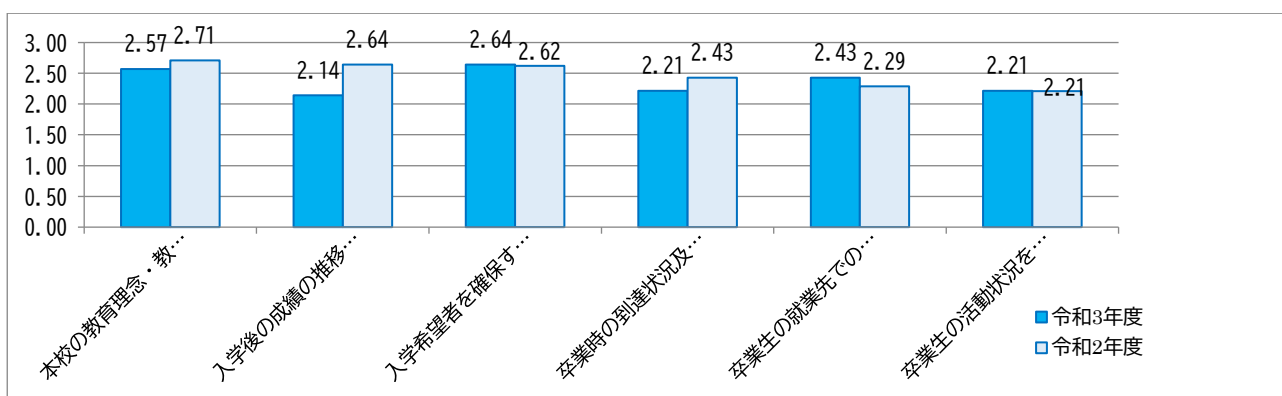
評価項目 7⇒・倫理規定は見当たらなかった。また、倫理委員会もない。

評価項目 9⇒・以前はセブンイレブンさんが週 2 回来ていたが、こなくなった。そのため、学生や教職員の昼食がカップ麺等を利用することが多くなった。飲食店、コンビニまで若干距離があるので、何らかの方策が必要である。

評価項目 10⇒・避難訓練を実施したが、一部の学生から避難場所のソーシャルディスタンスに問題があると学校長にクレームを言った学生がいる。濃厚接触にならないように時間を検討し、屋外マスク着用としたが、防災避難訓練の考え方として、ソーシャルディスタンスを保つ必要があるかを検討する必要がある。

評価項目 12⇒・国家試験の合格率が低下したため、専門実践教育訓練給付金制度指定を取り消された。

V. 入学・卒業・就業・進学



1	本校の教育理念・教育目的との一貫性から、入学選抜の考え方を明確にしているか。
2	入学後の成績の推移等、入学者の状況を分析し、選抜方法の妥当性を検証しているか。
3	入学希望者を確保するため、積極的な募集を行っているか。
4	卒業時の到達状況及び就業・進学状況を分析し、教育理念・教育目的との整合性を検証しているか。
5	卒業生の就業先での評価を把握するために就業先との情報交換や調査ができる体制を整えているか。
6	卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理して、教育理念・教育目的・教育目標、授業の展開に活用しているか。

1. 現状

評価項目1「本校の教育理念・教育目的との一貫性から、入学選抜の考え方を明確にしているか。」と、評価項目2「入学後の成績の推移等、入学者の状況を分析し、選抜方法の妥当性を検証しているか。」が前年度より低い結果となっている。ここ数年、1年生の成績を見るとコロナ禍によるオンライン授業の影響も考えられるが、学力の低下がみられる。さらに、そのことが国家試験合格者の低下につながっている可能性もある。経営面を考えると一定数の学生確保は必要である。入学選抜方法の検証と入学後の学生の学力向上を目指した授業の工夫、国家試験対策を両立させる努力をしていくことが必要と考える。

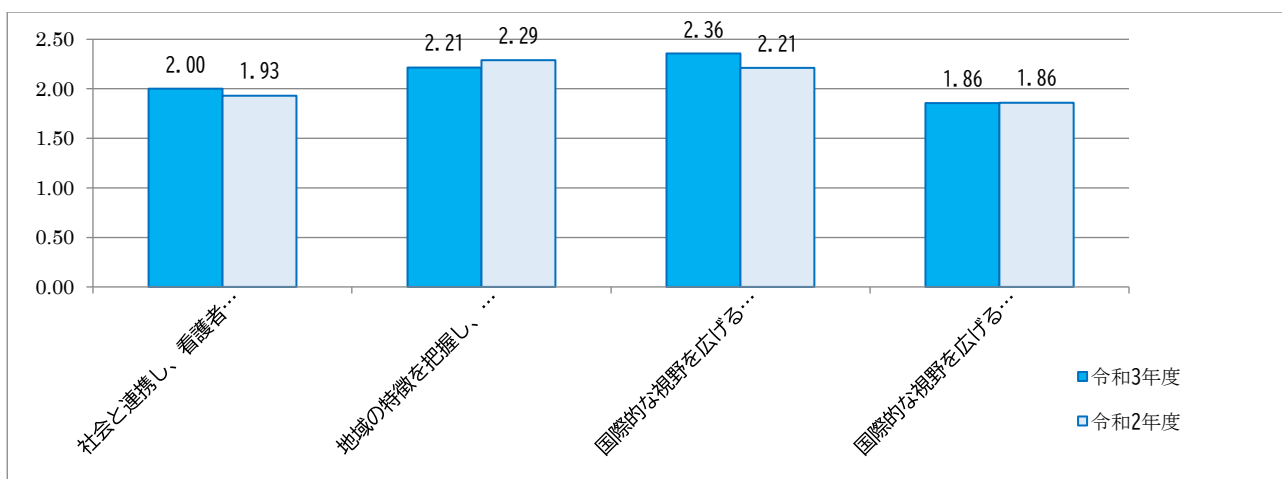
【改善の方策】

評価項目1⇒・選抜できる状況にない。

評価項目2⇒・分析や選抜方法の検証はできていても現実問題として選抜などにはいかされていない。

評価項目5⇒・卒業後の追跡が全くされていない。

VI. 地域社会・国際交流



1	社会と連携し、看護者養成のための教育活動を通して、地域社会への貢献を組織的に行っているか。
2	地域の特徴を把握し、地域内における諸資源を本校の学習・教育活動に取り入れているか。
3	国際的な視野を広げるための授業科目を設定しているか。
4	国際的な視野を広げるための自己学習に適した環境が整っているか。

1. 現状

全体に評価点数は昨年とほぼ同じである。コロナ禍の影響が長引き、具体的な地域への貢献活動ができていない状況が続いている。講義や学内実習で、学校近隣の地域の特徴を理解できるよう工夫する必要がある。地域の老健施設などでのボランティア活動や歳末助け合い運動の取り組みを継続していく。また、蔵書内容の充実、医中誌WEBや電子書籍の拡充・活用を継続して進めていく必要があると考える。

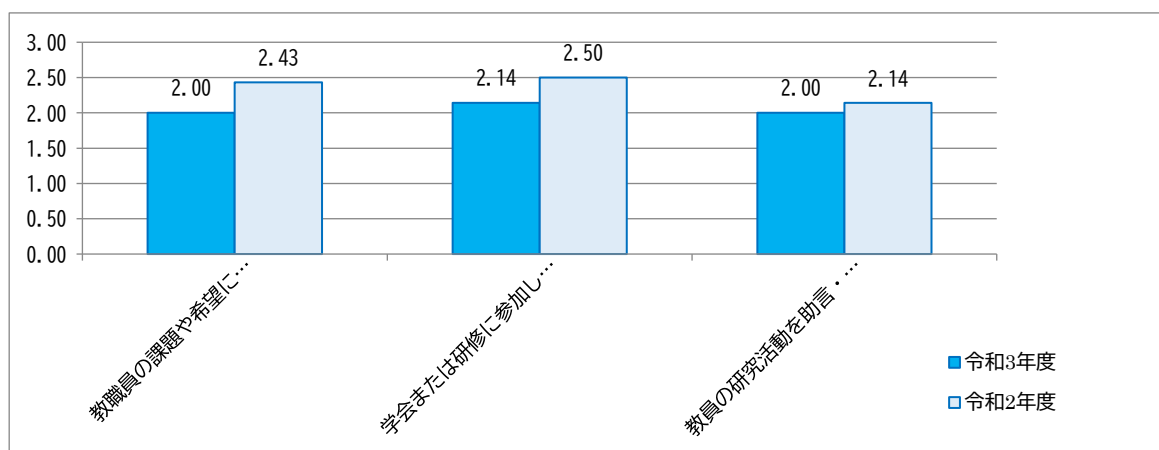
【改善の方策】

評価項目 1⇒・コロナ禍で困難な状況であった。

・教員の不足により、必要性はわかるができない現状にある。

評価項目 3⇒・単元としてある。

VII. 研修



1	教職員の課題や希望に沿った職場内研修を行っているか。
2	学会または研修に参加した成果を他の教職員に還元するしくみがあるか。
3	教員の研究活動を助言・検討する体制が整っているか。

1. 現状

全ての評価項目が前年度より低い結果となっている。前年度同様、コロナウイルス感染拡大による休校や在宅勤務を取り入れながらの業務が増加したことで、職場内研修を実施する時間が作ることができていない現状である。また、Webセミナーへの参加をしても報告する機会も作ることができていない。学外での研修に参加できる環境づくりや、学内での授業研究を充実させることを検討していく必要があると考える。

【改善の方策】

評価項目 2⇒・仕組みはあるが各々が多忙にて実行できていない。